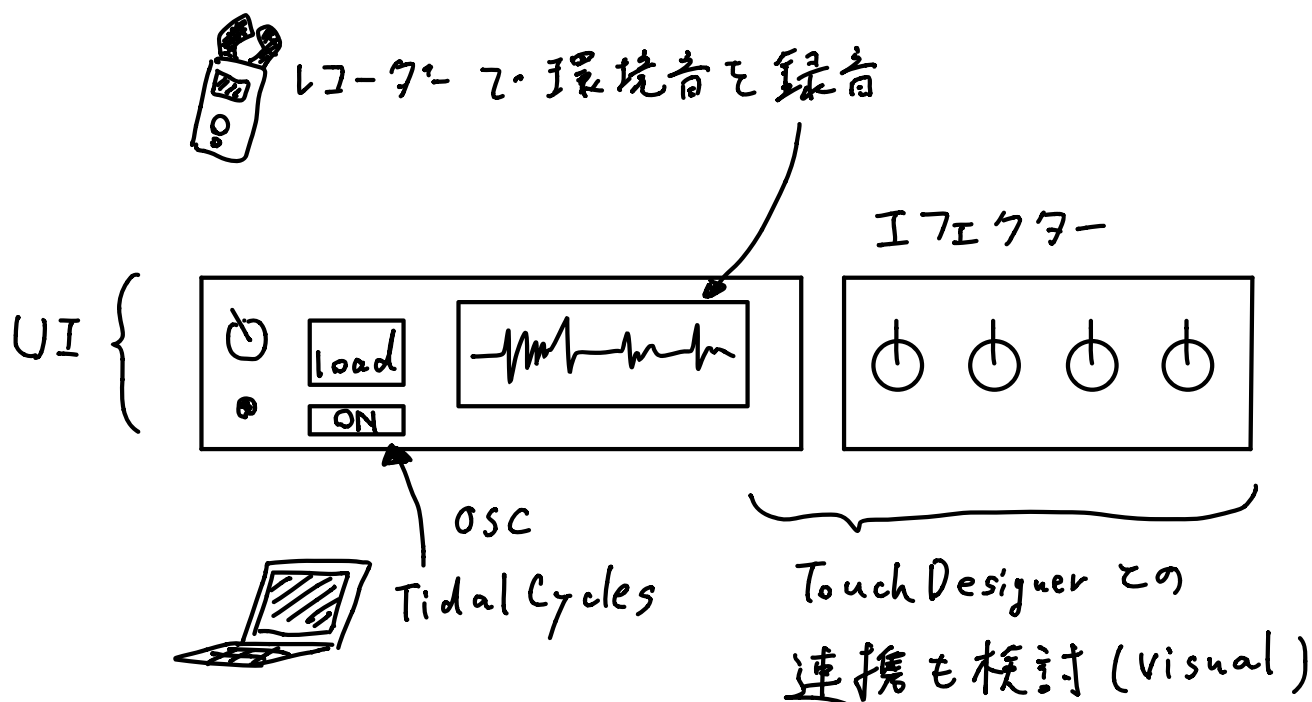


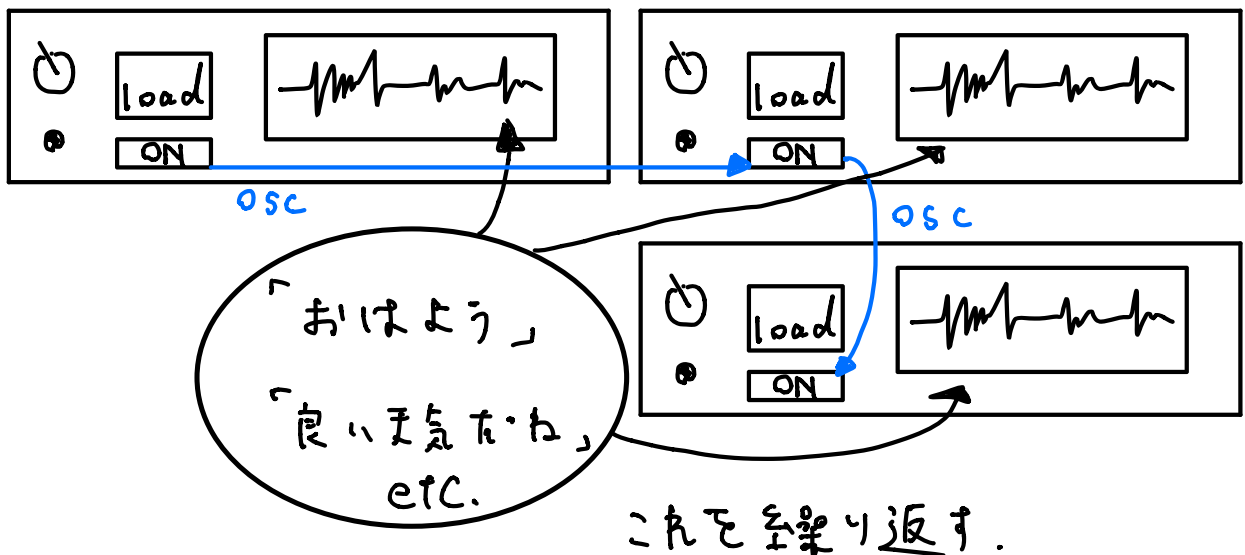
a. instrument of ambient music

Max for Live で 録音した 環境音を読み込める  
 パッチを制作する。その音を加工したりエフェクトをかける  
 パッチも制作する。また、OSC を受けると音が  
 再生される仕組みをつくる。これを使得て、  
 TidalCycles でリズムをリアルタイムに生成し、  
 OSC を送信された情報から Max for Live で  
 音を再生し、加工・エフェクトをかけながら演奏する。



## h. random talk

Max for Live で録音, 再生できるパッチを作り  
作し, それを 何台かの iMac に入れる. 各マシンに  
「こんにちは」, 「今日は良い天気ですね」 etc. のような  
短文を録音しておく. 母体を1台決めてそのマシ  
ンが音を再生すると. ランダムに OSC が飛ばさ  
れ. それを受け取った別のマシンが音を再生する... これ  
を繰り返してコンピュータ が会話しているような  
空間を作り出すアート作品. また, OSC を受信し  
た回数により, エフェクト をかける... ということも  
面白そう: thinking-face:

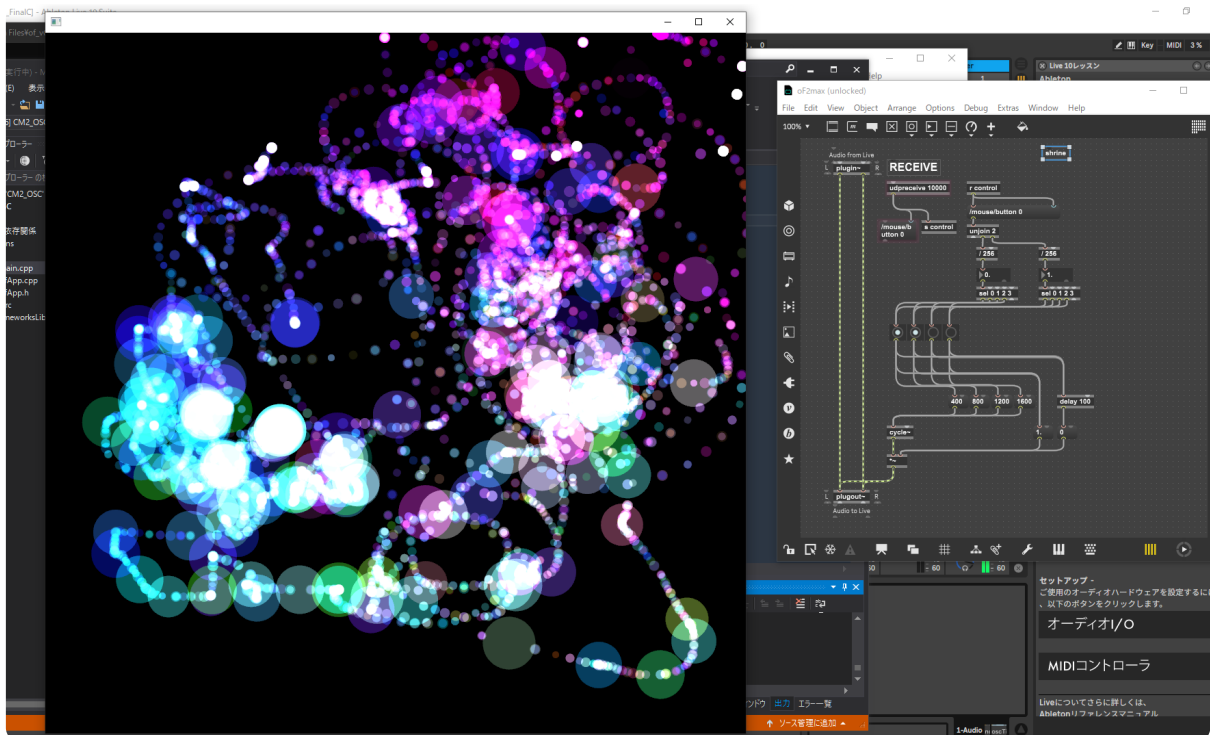


## C. graffiti instrument

ユーザーはマウスを使い、黒い画面に落書きをする。すると同時に音が鳴る。一般的に Audio Visual は 音 → 映像 なものが多いが、

このパイプラインは自分の中で初めての試みである。

技術的には、落書きアプリケーションは、openFrameworksで制作し、マウスの座標、ボタンのプレス、リリースの情報をOSCでMax for Live に送信してそこから音を鳴らす。



プロトタイプ